

2022年11月に開催されました展示会JIMTOF2022で初披露した新製品です！

NEW!

Magnescale

ワイヤレスデジタルレバーゲージ

μMATE+

Bluetooth®

測定のデジタル化をサポートする
プローブシステム登場!!

第31回日本国際工作機械見本市

JIMTOF2022

東京ビッグサイト(国際展示場)

小間番号 : 東7ホール E7018



当日ご来場が難しい方も
特設サイトをぜひご覧ください



<https://www.magnescale.com/topics/>

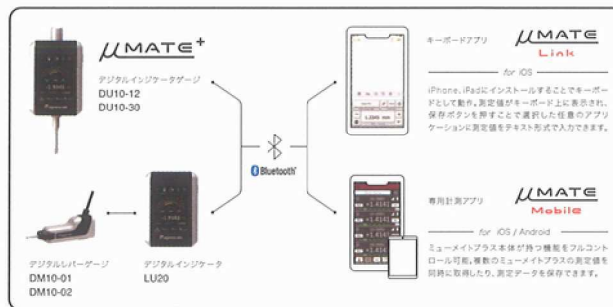
POINT 高精度、高分解能のレバーゲージ(てこ式)

- (1) アナログゲージと変わらぬ軽量・コンパクト性(レバー部:約75g)
- (2) 見やすく操作しやすい2.7インチカラー液晶タッチパネル搭載
- (3) ワイヤレスによるスマートフォンでの操作、データ保管・処理にも対応
- (4) 高速・高精度測定を可能にする2つの新技术(特許出願)

POINT 5種類の測定モードで多彩な測定が可能

測定物の状況にマッチした5つの表示モードを用意。

パーメータやリアルタイムチャート、円測定モードなど測定目的に最も適した表示を選択いただけます。



アナログ表示モード



パーメータモード



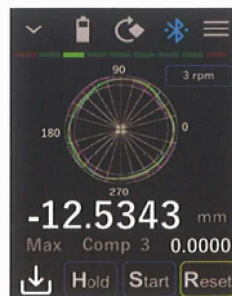
MAX/MIN/P-Pモード



リアルタイムチャートモード



簡易円測定モード



株式会社マグネスケール
国内営業部 東京営業所 所長
阪田 昌也

貴社ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社製品をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。株式会社マグネスケールはマニュアル計測器「μMATE+(ミューメイト・プラス)」を商品化しました。2022年11月8日から11月13日に東京国際展示場で開催されるJIMTOF2022に出展いたします。

組立や加工、検査の現場では「てこ式」を含む多数のダイヤルゲージが使用されていますが、未だその多くがアナログ式であり、アナログ針の指示値を目視で読み取り記録したり、公差内の合否判定をしたりといった用途で使用されています。一方で、省力化や効率を求めデジタル化の工程変革も多くの現場で検討されていますが、ダイヤルゲージのデジタル化には、システム全体の設計・構築も必要になり高いハードルとなっています。当社は、現場で使用されている問題点を耳を傾け、高精度で測定しやすくかつデジタル化が容易なワイヤレスデジタルゲージを商品化しました。製品詳細は是非会場にて実機をご覧ください。ご来場お待ちしております。

株式会社小沢商店

デジタルインジケータゲージ

DU10-12 / DU10-30

LU20の機能をそのまま搭載した一体型

測定範囲12mm、30mmをラインナップ

分解能:0.1 μ m 精度:1 μ m



DU10-12 / DU10-30

型名	DU10-12	DU10-30
測定範囲	12 mm	30 mm
分解能	0.1 μ m	0.5 μ m
精度	1 μ m	1.5 μ m
表示部	2.7inchカラーLCD タッチパネル付	
入出力コネクタ	電源供給・信号インターフェイス部：USB Type-C	
データ/F	Bluetooth (BLE)にてデータ送信、専用アプリより本体のコントロール可能 micro SDカードスロット搭載、市販のmicroSDカードに測定データ保存可能	
主な機能	表示画面	デジタル数値表示、アナログ表示(針モード)、パーセント表示、リアルタイムチャートモード、簡易円測定
	計測機能	現在値、最大値、最小値、P-P値、データホールド、表示分解能切り替え(デジタル、アナログメータ)、コンパレータ設定
	その他	キーロック機能、表示回転機能、インチ表示(海外モデルのみ)
消費電力	1W 以下	
供給電源	充電式リチウムイオンバッテリーにて駆動、USB Type-Cコネクタから供給(充電)	
使用温度範囲	0~+40 °C(結露なきこと)	
保存温度範囲	-10~+60 °C(結露なきこと)	
外形寸法	64(W) × 49(D) × 156(H) mm	未定
付属品	ACアダプタ、取扱説明書、充電式リチウムイオンバッテリー×2(お客様側で交換可能)	